

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1411
施設名	タムスわんぱく保育園墨田
施設所在地	東京都墨田区亀沢3丁目24- 1
法人名	社会福祉法人春和会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【世界】世界の言葉を知ろう

<テーマの設定理由>

- ・様々な人たちと関わりながら乳幼児期を過ごす。
- ・現在、小学校でも英語学習が行われている。卒園後も異文化交流を楽しめるよう、保育園で外国の方と触れ合い、言葉や音楽を通して興味感心を深める。
- ・異文化のお友だちの名前や言葉に親しみを持つ。

2. 活動スケジュール

- ・外部講師を招き、週1回、英語あそびを楽しむ。
- ・0歳児～5歳児、クラスごとに活動。各歳児に合わせて活動時間を設定。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ローマ字表記の名札、絵本、音楽
- ・玄関に英語あそびの活動掲示コーナーを設置

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 保育者も子どもたちと同じ活動を行う。
- ・ 英語での呼名、色・動物・乗り物等カードをみながら表現する
- ・ 英語の歌・ダンス・絵本等で、日本語以外の言葉に触れる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【乳児クラス】

講師と初めて会った時には驚いて泣いてしまう子もいた。遠くから講師のことを見ている子、保育者の膝に座り参加している子、人見知りせずに講師の周りに行く子など様々であった。子どもたちが望む講師との距離感や、それぞれの場で興味を示したり、自ら行動したりする一人ひとりのタイミングなどを大切にした。また、保育者が講師と会話をしたり、英語を楽しむ姿を見せることで、安心感へと繋がった。すると、徐々に講師との距離が近くなり、タッチをしたり、英語を真似たりし、英語遊びへの意欲を高めていた。毎週繰り返し行っている動作や言葉を子ども達が理解するようになり、英語遊びの時間以外にも子ども達自ら、英語を使って遊ぶようになった。

【幼児クラス】

講師に対して最初は様子を伺う子もいたが、すぐに慣れ、講師の言葉や絵本に興味を持っていた。また、歌やダンス、手遊びも真似て楽しんでいった。その一方で、ダンスを恥ずかしがったり、英語への興味・関心がなく、参加せずに集団から離れたりする子もいた。保育者が日本語で子どもに伝えたり、日本語で講師の英語をクイズにしたりする等、英語に触れる空間になるように心掛けた。幼児クラスは年間プログラムの他に、夏祭りや制作なども一緒に行うことで講師のことが大好きになり、仲良しになっていく姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・【世界】と大きなテーマの中で外国人の講師との出会いは子ども達や保育者にとって、たくさんの経験、学びへと繋がった。子ども達は聞きなれない英語、大柄の男性講師と少し距離を取りながらも、音楽やダンス、絵本等を通じて、子どもたちの興味関心が広がった。興味関心から講師が話す英語も自然と耳に入り、言葉と動作を交えて、簡単な英語への理解へと繋がっていた。
- ・この1年間の子どもとの関わりの中で、保育者が子どもたちにとっての初めての経験を一緒にすること、その姿を見せること、一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもたちからの発信に応え、見守ることの大切さを感じた。